

民主党京都政治スクール概要

1. 第六期民主党京都政治スクールについて

2005年の開校以来五期に渡り開催してきた民主党京都政治スクールは、主に「マニフェスト」や「地域主権」についての理解を深める講義を行ってきました。第六期となる今期は、『コミュニケーションツールとしてのマニフェスト』を年間テーマとし、昨年の総選挙において掲げた「民主党マニフェスト」や、ローカルマニフェスト「京都スタイル」を題材に、私たちの生活の「何が」「いつ」「どのように」変わり、それによって「どのように」活動しなければならないかを学びます。国会議員など、マニフェストに造詣の深い方々を講師として、6月から12月まで月1回の講義を行います。

2. 年間テーマ：『コミュニケーションツールとしてのマニフェスト』

3. 第六期講義日程

2010年6月～12月（月1回・全7回）

本講義は毎月第三土曜日 13：30～16：30に開催を予定

【第三講（8月）・第五講（10月）は実地視察を予定】

※政治日程等により変更の可能性もあります。

【参考】これまでの政治スクールの年間テーマと講師

第一期（2005年5月～12月）	各国会議員をコーディネーターに政策テーマごとに講義
第二期（2006年5月～12月）「ローカルマニフェストの研究と立案」	スクール生自らテーマを決めて、ローカルマニフェストの作成を行う
第三期（2007年8月～1月）「実践！ローカルマニフェストの検証」	「ますもとマニフェスト」を素材に、ローカルマニフェストの検証を実践
第四期（2008年4月～12月）「地域主権」	年間テーマに沿った講義、集中講義では実地視察を実施
第五期（2009年6月～12月）「地域力」	地方分権が進む中でより問われる地域の総合力について研鑽
講師	○前原誠司（国土交通大臣・政治スクール校長） ○京都市立大原学院【実地視察】・里の駅大原【実地視察】 ○高橋彦芳（前長野県栄村村長） ○宇治佐原ファーム【実地視察】 ○宮本博司（元淀川水系流域委員会委員長） ○小川淳也（総務大臣政務官） ○増田寛也（野村総研顧問・東京大学大学院客員教授）